

各位

2026 年 10 月 29 日
野村不動産ホールディングス株式会社

リリースカテゴリー：IR 情報

2027 年 3 月期 第 2 四半期連結決算のお知らせ

野村不動産ホールディングス株式会社（本社：東京都港区 代表取締役社長：新井 聡）は、本日、2027 年 3 月期 第 2 四半期連結決算（2026 年 4 月 1 日～2026 年 9 月 30 日）を確定しましたので、お知らせいたします。詳細については、「2027 年 3 月期 第 2 四半期決算短信」、「2027 年 3 月期 第 2 四半期決算説明資料」を合わせてご参照ください。

■主な内容（決算説明資料より抜粋）

1. 2027年3月期 第2四半期決算概要（連結）

あしたを、つなぐ。——野村不動産グループ
野村不動産ホールディングス

① 決算概要

2027年3月期
第2四半期決算

✓ 通期業績予想に対しては計画通りに進捗

✓売上高	3,784億円
事業利益※1	509億円
中間純利益※2	273億円

2027年3月期
業績予想、配当予想

✓ 国内の好調な進捗を反映し、業績予想を上方修正

✓売上高	10,850億円	（前年同期比 +1,424億円、+15.1%）
事業利益※1	1,530億円	（同 +56億円、+3.8%）
当期純利益※3	860億円	（同 +31億円、+3.8%）
✓年間配当金	44.0円	（同 +4.0円）※期初予想から変更なし
配当性向	43.8%	

※1 事業利益 = 営業利益 + 持分法投資損益 + 企業買収に伴い発生する無形固定資産の償却費 + 海外セグメントにおけるプロジェクト会社（不動産の保有・開発を主としたSPC等）の持分売却損益

※2 親会社株主に帰属する中間純利益

※3 親会社株主に帰属する当期純利益

©Nomura Real Estate Holdings, Inc. All rights reserved.

1. 2027年3月期 第2四半期決算概要（連結）

② 連結決算概要

✓売上高は3,784億円、事業利益は509億円、親会社株主に帰属する中間純利益は273億円

連結損益計算書

(単位：億円)	26/3期 2Q 実績 ①	27/3期 2Q 実績 ②	増減額 ②-①	27/3期 予想 ③	27/3期 進捗率 ②/③
売上高	3,977	3,784	△192	10,850	35%
営業利益	571	465	△106	1,460	32%
持分法投資損益	28	32	+4		
企業買収に伴い発生する 無形固定資産の償却費	7	6	△0		
海外セグメントにおけるプロジェクト会社の 持分売却損益	—	5	+5		
事業利益 ^{※1}	607	509	△98	1,530	33%
営業外収益	32	37	+4		
営業外費用	96	112	+15		
経常利益	508	390	△117	1,270	31%
特別利益	—	19	+19		
特別損失	68	10	△57		
法人税等	126	125	△0		
親会社株主に帰属する中間純利益	313	273	△40	860	32%

※1 事業利益 = 営業利益 + 持分法投資損益 + 企業買収に伴い発生する無形固定資産の償却費 + 海外セグメントにおけるプロジェクト会社(不動産の保有・開発を主としたSPC等)の持分売却損益

©Nomura Real Estate Holdings, Inc. All rights reserved

4

1. 2027年3月期 第2四半期決算概要（連結）

③ セグメント別決算概要

✓住宅セグメントの住宅分譲計上戸数や収益不動産売却の増加、仲介・CREセグメントの取扱高の増加により増収増益。

✓都市開発セグメントの収益不動産売却の減少、運営管理セグメントの経費の増加により減収減益。

(単位：億円)	セグメント	26/3期 2Q 実績 ①	27/3期 2Q 実績 ②	増減額 ②-①	主な増減要因
売上高（連結）		3,977	3,784	△192	
住宅		1,794	1,954	+160	住宅分譲の計上戸数の増加、収益不動産売却の増加
デベロップメント 分野	都市開発	1,305	949	△356	収益不動産売却の減少
	海外	20	18	△2	
サービス・ マネジメント 分野	資産運用	76	82	+5	
	仲介・CRE	301	318	+16	リテール、ミドル、ホールセールにおける、売買仲介取扱高の増加
	運営管理	598	593	△5	前年同期に受注工事が集中した反動等による減少
その他・調整額		△120	△131	△11	
事業利益（連結） [※]		607	509	△98	
住宅		209	268	+58	住宅分譲の計上戸数の増加、収益不動産売却の増加による粗利益の増加
デベロップメント 分野	都市開発	239	97	△142	収益不動産売却の減少による粗利益の減少
	海外	9	△3	△13	計上済のプロジェクトのイグジットに伴う清算費用等
サービス・ マネジメント 分野	資産運用	49	54	+4	
	仲介・CRE	94	96	+2	
	運営管理	56	36	△20	DX費や人件費等の経費の増加
その他・調整額		△51	△39	+12	

※ 事業利益 = 営業利益 + 持分法投資損益 + 企業買収に伴い発生する無形固定資産の償却費 + 海外セグメントにおけるプロジェクト会社(不動産の保有・開発を主としたSPC等)の持分売却損益

©Nomura Real Estate Holdings, Inc. All rights reserved

5

1. 2027年3月期 第2四半期決算概要（連結）

あしたを、つなぐ
野村不動産ホールディングス

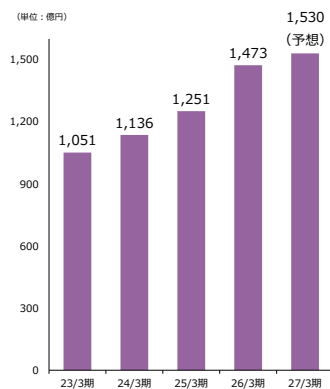
④ 2027年3月期 通期業績予想の上方修正

- ✓ 国内の好調な進捗を反映し、売上高・営業利益・事業利益・経常利益の予想を上方修正。
- ✓ 住宅セグメントの住宅分譲の粗利益率の上昇、運営管理セグメントの受注工事の増加により、事業利益を上方修正。
- ✓ 海外セグメントは、一部の住宅分譲の販売スケジュールを見直し。

（単位：億円）	セグメント	26/3期 実績 ①	27/3期 修正予想 ②	増減額 ②-①	27/3期 期初予想 ③	増減額 ②-③	主な増減要因 ②-③
売上高（連結）		9,425	10,850	+1,424	10,800	+50	
住宅		4,334	5,000	+665	5,000	—	
デベlopメント 分野		3,247	3,700	+452	3,700	—	
海外		37	40	+2	40	—	
サービス・ マネジメント 分野		163	250	+86	250	—	
仲介・CRE		643	680	+36	680	—	
運営管理		1,298	1,380	+81	1,330	+50	受注工事の増加
その他・調整額		△299	△200	+99	△200	—	
事業利益（連結）※		1,473	1,530	+56	1,500	+30	
住宅		617	730	+112	690	+40	住宅分譲の粗利益率の上昇
デベlopメント 分野		539	520	△19	520	—	
海外		27	△30	△57	0	△30	販売スケジュールの見直し
サービス・ マネジメント 分野		105	115	+9	115	—	
仲介・CRE		189	190	+0	190	—	
運営管理		135	115	△20	95	+20	受注工事の増加
その他・調整額		△142	△110	+32	△110	—	
営業利益		1,382	1,460	+77	1,400	+60	
経常利益		1,248	1,270	+21	1,250	+20	
親会社株主に帰属する当期純利益		828	860	+31	860	—	

※ 事業利益 = 営業利益 + 持分法投資損益 + 企業買収に伴い発生する無形固定資産の償却費 + 海外セグメントにおけるプロジェクト会社（不動産の保有・開発を主としたSPC等）の持分売却損益

事業利益



©Nomura Real Estate Holdings, Inc. All rights reserved

6

（参考資料）

[2027年3月期 第2四半期決算短信](#)

[2027年3月期 第2四半期決算説明資料](#)

【お問い合わせ窓口】

野村不動産ホールディングス株式会社 コーポレートコミュニケーション部 IR 課

TEL 03-6381-7243 MAIL : nrehd-ir@nomura-re.co.jp